



## 特集

# ミステリーHUNTER

## 突撃！となりの仕事人 飲食店店長

### 編集後記

WAKABA 第1号から活躍してくれたマスコットキャラ「パペコ」は、今月をもって卒業することになりました。表紙撮影のために、遠く鹿児島や奈良まで出張してくれたのも良い思い出です。今までどうもありがとう パペコよ永遠なれ！（編集：C・F）

ミステリーって面白いですよね。トリック満載の最新作もいいですが、乱歩や横溝などの古い作品もロマンがあっておすすめです。（編集：H・O）

寒い日が続いていますが、みなさん元気に過ごしていますか？2012年も色々な本を紹介していきますので、WAKABAをよろしく願います。（編集：A・K）

冬は寒くて外に出たくない季節ですね。しかし、空気が澄んでいて夜空がとっても綺麗！息抜きに窓から夜空を見上げてみてはいかがかな（編集：R・S）



### #YAコーナーからお知らせ#

#### 特集テーマ「ミステリーHUNTER」

最近、ミステリー小説のドラマ化・映画化が相次いでいます。そこで、2~3月の展示では、図書館のおすすめミステリー小説をど〜んと集めちゃいます♪あの人気作家の作品や隠れた名作、たくさん紹介しています！ぜひ読んでみてね☆

#### 投稿テーマ「1日が25時間だったら！？」

学校や部活の毎日、みんなは忙しく過ごしてませんか？もし、1日がちょっとだけ長い25時間だったら…。ゆとりの時間をどんなふうにご過ごしたいか、ぜひ教えてください♪

#### #利用についてのお願い#

※自習はスタディールームを利用しましょう。図書館では読書や調べものをされる方のために席をご用意しています。館内の閲覧席での自学自習はご遠慮ください。

「WAKABA」第32号 YA通信（2012・2 - 3月号）  
表紙の写真: YA編集部宅 発行: YA編集部  
Nagasaki City Library, 2012

# 突撃となりの仕事人



今回の仕事人は最終回！図書館1Fにあるレストラン『池田屋』の店長さんにインタビューしてきましたよ♪

今月のお仕事  
飲食店店長

仕事人ファイル:12  
『池田屋』店長  
いけだ さだとし  
池田 禎俊 さん



YA: どうしてこの仕事を目指したのですか？

実家が自営業だったので、小さいころから“経営”“接客”“料理”に触れる事が当たり前の生活の中で育ちました。大学を出たころから自然とこの仕事をやりたいと思いました。

YA: このお仕事の大変なところは？

食材の値段が上がると大変です。お客様にはできるだけ安く提供したいけれど原価が高いと難しいです。災害の影響もあります。

YA: この仕事のやりがいは？

一番うれしい瞬間はお客様から「おいしかった」と言ってもらえる時。どれだけ疲れていても、その一言を聞くと「この仕事をしていて良かった」と思えます。

YA: この仕事についてなかったら、何の仕事をしていたと思いますか？

以前は映画やテレビ製作に興味がありました。今ならやっぱりどこかで飲食業をやっていると思います。

YA: YAおすすめの映画を教えてください。

「アヒルと鴨のコインロッカー」(原作:伊坂 幸太郎/著 東京創元社 F/913.6/イサ)  
「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」(原作:ママチャリ/著 小学館 他公民館)  
「青の炎」(原作:貴志 祐介/著 角川書店 F/913.6/キン)

「トレインスポッティング」

「プラス！」

「アメリカン・パイ」

「モーターサイクル・ダイアリーズ」

「アメリカンヒストリーX」

どれも青春映画です。観たら色々な影響を受ける作品なので、ぜひ観て下さい。



YA: 最後にこの仕事を目指す人たちにメッセージをお願いします。

社会の動きや流行などにとっても影響される仕事です。常に色々なものに興味を持つ必要があります。やりがいのある仕事なので頑張ってください。

ただ、やりたい事を1つだけに絞ってしまうと、上手いかなかった時に行き詰まってしまうかも知れません。夢はいくつか持っていて、選択できる余地があると良いと思いますよ。

爽やかな笑顔で気さくにお話して下さった池田さん。インタビューありがとうございました！このコーナーは今回で最終回です。読んでくれてありがとうございます！またね♪



「銀の檻を溶かして」高里 椎奈/著  
講談社 F/913.6/タカ (¥800)

燻べたような色の木の板、木の壁、木の天井…。賑やかな街の一角に、まるでそこだけ時に取り残されたかのような店。優しい青年と、澄んだ美貌の少年と、元気な男の子の三人が営む「深山木薬店」は、実は特殊な「探偵事務所」。



「ミステリー おいしい博物館盗難事件」  
アーサー ガイサート/作  
久美 沙織/訳  
BL出版 外国絵本/E/ガ (¥1300)

博物館にでかけたコブタは、なんだかへんだぞ、と気がつく。絵の一部が切り取られ、ニセモノがはめこんであるのだ。誰がどうやって切り取ったのか？コブタと一緒に手掛かりを追いかけて、推理を楽しんでください。



「モルグ街の殺人事件」E.A.ポー/作  
金原 瑞人/訳  
岩波書店 児童/933/ポ (¥640)

密室殺人事件の意外な犯人を推理する天才デュパン。自分とそっくりな人間の影におびえる男。船をのみこむ恐ろしい大洞。ぶきみな黒猫を嫌悪する男…。謎解きのおもしろさと恐怖に満ちた7編を収録。

# ミステリー HUNTER



「冷たい校舎の時は止まる(上・中・下)」  
辻村深月/著 講談社 F/913.6/ツジ  
(¥780・¥800・¥820)

ある雪の日、学校に閉じ込められた8人の高校生。開かない玄関の扉、誰も来ない校舎。謎を追ううちに彼らは気づく。学園祭で自殺した級友の名が思い出せない…死んだのは誰!? 第31回メフィスト賞を受賞した学園ミステリー。



「十角館の殺人」綾辻 行人/著  
講談社 Y/913.6/アヤ (¥980)

断崖絶壁で囲まれた島にある、十角形の奇妙な館を訪れたK大学ミステリ研究会の7人。彼らを襲う連続殺人の謎。結末に待ち受ける「衝撃の一行」とは？綾辻行人のデビュー作で、新本格ミステリの名作。

「万能鑑定士Qの事件簿」松岡 圭祐/著  
角川書店 Y/913.6/マツ (¥514)

都内に異常増殖したカシシールの怪、ニセ札大量発生によるハイパーインフレの危機…。記憶と照らし合わせて瞬時にあらゆる物の価値や真贋を判定する、万能鑑定士・凜田莉子が、そのすべての謎を見抜く!



長崎市立図書館では、自分の住む町の図書館を知ってもらい、図書館を拠点に色んな人と交流することを目的として『YAボランティア』の活動を行っています。



## YAボランティア



約1年間を通して図書館のサービスを学びながら、図書館PR隊として活動しています。

今回は、第2期生の活動風景をちょっとだけ紹介しますよ。今年度も色々な活動を行なってもらいました♪



平成24年度も春からYAボランティアを募集します!!  
詳しくは次号のWAKABAをご覧ください。

## キラリ作家★ 有川 浩

\*\*\* 作家紹介 \*\*\*

有川 浩【ありかわ ひろ】  
高知県出身。第10回電撃小説大賞〈大賞〉受賞作『塩の街』にて2004年作家デビュー。『図書館戦争』は「本の雑誌」2006年上半期ベスト11に選ばれる。若い世代を中心に圧倒的的支持を得ている。  
\*\*\* (新潮社.作家紹介 参考)\*\*\*



『図書館戦争』 ●●●●●  
角川書店 Y/913.6/アリ (¥1600)

公序良俗を乱し、人権を侵害する表現を取り締まる法律として「メディア良化法」が成立・施行された現代。超法規的検閲に対抗するため、立てよ図書館! 狩られる本を、明日を守れ! 正義の味方、図書館を駆ける!

『阪急電車』  
幻冬舎 Y/913.6/アリ (¥1400)

宝塚駅。征志、運命の女性に会う。宝塚南口駅。翔子、呪いの願をかける。恋の始まり、別れの兆し、そして途中下車。電車は人数分の人生を乗せて、どこまでもは続かない線路を走っていく。

『キケン』 ●●●●●  
新潮社 Y/913.6/アリ (¥1400)

● 既にサークルの域は出た。活動内容もそうだが、集う人間の危険度も、だ。ヤバイ奴らが巻き起こす熱血青春ドタバタ劇。理系男子って皆こんなに危ないの?